

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年7月1日（木）

2 確認箇所

西門前ヤード

1号機原子炉建屋周辺及び1号機原子炉建屋残置カバー小割解体ヤード

3 確認項目

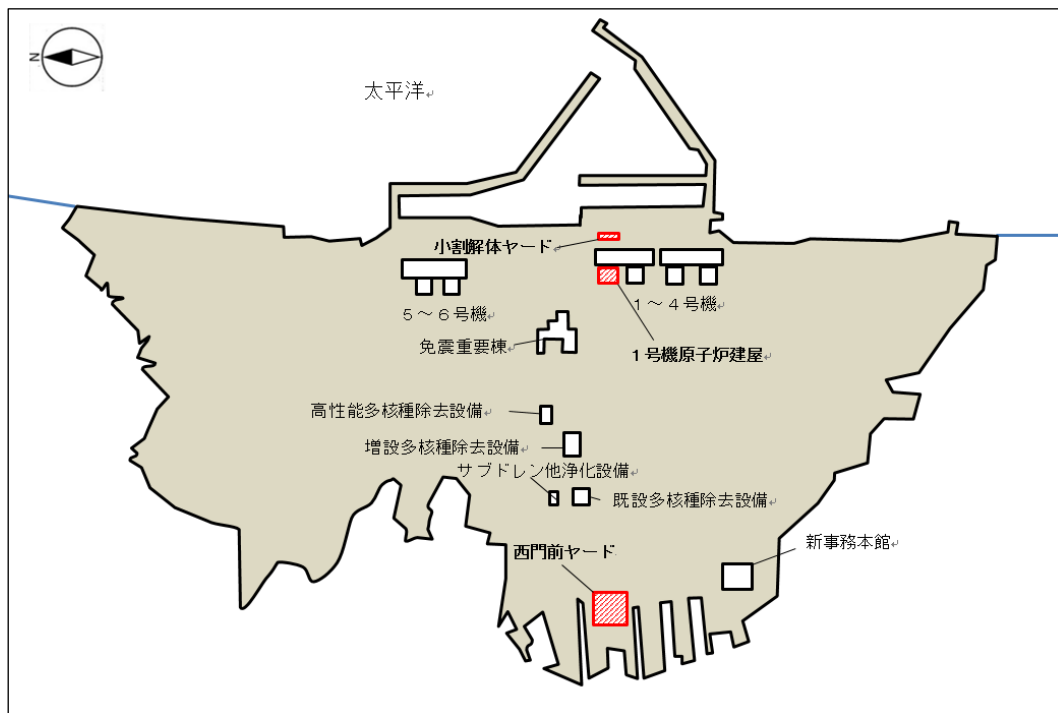
- (1) 1号機原子炉建屋大型カバー設置に係る仮設構台の組立状況
- (2) 1号機原子炉建屋残置カバー解体作業の進捗状況

4 確認結果の概要

- (1) 1号機原子炉建屋大型カバー設置に係る仮設構台の組立状況について
福島第一原子力発電所では、1号機原子炉建屋の使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けて建屋最上階のオペレーティングフロアから瓦礫等を撤去するため、ダスト飛散防止対策及び雨水流入抑制などを目的として建屋を覆う大型カバー^{※1}の設置を計画している。
大型カバーの設置に必要となる仮設構台^{※2}の事前組立が、西門前ヤードで進められていることから状況を確認した。（図1）（写真1）
 - ・作業架台上で仮設構台の主要構造物である鉄骨のボルト締めなど組立作業が行われていた。（写真2）
 - ・ヤード内には仮設構台を1号機原子炉建屋まで運搬する重量物運搬車が停車していた。（写真3）
 - ・東京電力によれば、準備作業を含め、今年度上期に大型カバー設置工事に着手予定とのことである。

※1 1号機原子炉建屋のオペレーティングフロア全体を覆うカバーであり、瓦礫撤去用天井クレーン及び燃料取扱設備等の設置が計画されている。また、ダスト放射線モニタを設置し、カバー内の放射性物質濃度及び外部への漏えいの有無を連続監視するとされている。

※2 大型カバーを原子炉建屋にアンカー固定する際に作業上必要となる構台で、原子炉建屋周囲の地上部に設置され、約14mの高さでフラットとなる設計である。作業の効率化及び作業員の被ばく線量の低減を図るため、西門前ヤードで運搬・搬入が可能な範囲で事前組立てが行われている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
西門前ヤードの状況

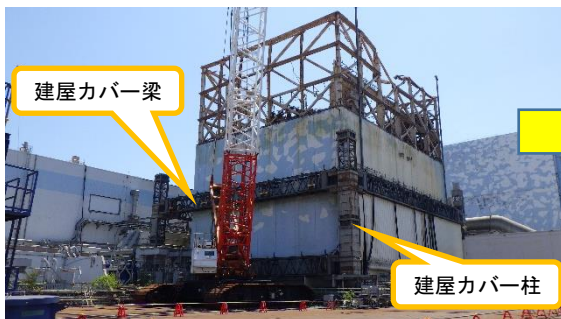


(写真2)
組立作業の状況



(写真3)
重量物運搬車

- (2) 1号機原子炉建屋残置カバー解体作業の進捗状況について
 1号機原子炉建屋の大型カバー設置にあたり干渉する残置カバーの解体が進められていたことから、前回(令和3年4月21日)に引き続き状況を確認した。(図1)
- ・1号機原子炉建屋の残置カバー解体は完了していた。(写真4)
 - ・残置カバー小割解体ヤードでは、解体物の重機による小割及びガス溶断が行われており、現場確認時には本日の作業が終了し、シート掛けが行われていた。(写真5)



(写真4-1)
1号機原子炉建屋の状況
(令和3年4月21日撮影)



(写真4-2)
同左
(令和3年7月1日撮影)



(写真5)
小割解体ヤードでの作業状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。